

# 結 (ゆい) 第 23 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL06-6974-0531 FAX06-6975-2181

E-mail [info@kansaineji.com](mailto:info@kansaineji.com)

URL <http://www.kansaineji.com>



第10回総会 会場

## 第10回通常総会を開催

関西ねじ協同組合は「第10回通常総会」を5月29日、大阪市北区の「リーガロイヤルホテル大阪」で開催した。組合員・賛助会員・来賓各位が参加する中、箕村理事長の再任が決まったほか、製品別・用途別の新設分科会事業の設置を含む平成24年度事業計画など、全議案が原案通り承認された。



## 新年度事業活動のご紹介

関西ねじ協同組合

理事長 箕 村 理  
(株 ダイロ ック)

平成24年5月29日に開催した関西ねじ協同組合総会は第10回を数えるに至りました。140余名もの参加者のもと盛大に執り行うことができましたことを感謝いたします。本年度は、関西ねじ協同組合設立10周年の節目です。設立当初から多くの組合員のご協力の下、活発に委員会活動を継続してまいりました。本年度から大幅に活動内容と委員構成を見直すことにより、更なる活性化を図ってまいります。関西ねじ協同組合は、委員会に参加することにより組合員、賛助会員の各社は大きなメリットを享受できると確信しております。皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

組合活動の広報の重要性は言うまでもありません。年2回発行の「結」が重要な役割を果たしています。しかしながら、冊子による広報媒体だけでは不十分な点も多く見受けられるようになりました。情報伝達能力という点では、スピード、広範囲性の観点から限界があります。本年度より冊子の配布部数を減らした上で、ホームページ上で公開することに踏み切りました。IT活用委員会のもとで、より効率のいい広報を迫及していることを報告させていただきます。

関西ねじ協同組合では、組合員が広く海外の業界を取り巻く状況の変化に対応することへのサポート活動を海外情報委員会にて行っています。本年度は、平成25年2月にタイのねじ産業、関連産業の視察を企画しております。ユーザー各社が海外生産を進める中、ねじ企業も海外進出を余儀なくされております。海外進出の実態を視察することにより、そのメリット、リスクを考える機会にできるよう企画しました。多くの企業の参加をお勧めいたします。

関西ねじ協同組合が巨大な組織であるが故に、組合員の参加のきっかけがつかめ切れなとの声にこたえて、本年度から製品品種ごとに分科会を設置することになりました。分科会の会合開催をサポートすることにより、より身近な形で組合に参加していただけることを願い、実施に踏み切りました。中には従来から活動している組織がありますが、相互に協力することにより、業界の活動の活性化に向けて貢献してまいりたいと思います。

先に述べたとおり、本年度は設立10周年です。平成25年新年会を、設立10周年記念式典として開催する予定です。ここまでこられたのも組合員、賛助会員皆様のご協力があつてのことです。10年を一つの節目として、今後さらなる発展を期していきたいと思っております。今後とも皆様のご協力のほど、よろしくようお願い申し上げます。

# 総会 フォト



挨拶する箕村 理 理事長



～来賓祝辞～  
大阪府商工労働部 ものづくり支援課  
戸梶直治参事



～来賓挨拶～  
(社)日本ねじ工業協会  
竹中弘忠会長



～福利厚生委員会報告～  
夏原和哉委員長



～ I T 活用委員会報告～  
川端康弘委員長



～賛助会員分科会(ものづくりサポート会) 報告～  
坂元正樹会長



# 総会フォト



～その他事業報告と計画案～  
西 泰宏副理事長



～決算報告～  
池田裕之専務理事



～監査報告～  
田中良典監事



～役員改選～  
池田栄治選考委員長



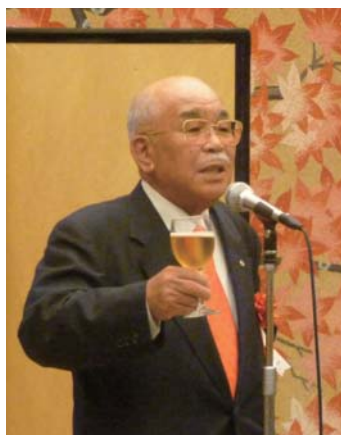
～退任理事～  
中谷格氏が謝辞



# 総会 フォト



～来賓祝辞～  
近畿経済産業局 製造産業課  
内海美保課長



～乾杯の発声～  
北井正次相談役



～閉会の辞～  
中江良一副理事長



大勢の参加者で懇親会

## 平成24年度事業計画

### 【研究開発委員会】

委員長…大場康弘氏（コクブ）。

#### 〈活動方針〉

- ・特許権を保有する屋内加速試験条件F C K法の周知と普及。

#### 〈事業内容〉

- ・グループ会合による屋外曝露試験片観察データの分析。
- ・屋外曝露試験片の観察。
- ・特許権を保有する屋内加速試験条件の周知と普及。
- ・活動成果報告書の作成及び配布。

### 【海外情報委員会】

委員長…柳原考至氏（ロックファスナー）。

#### 〈活動方針〉

- ・海外の産業動向を研究する年一回の海外研修を行う。

#### 〈事業内容〉

- ・海外視察の実施。

### 【人材開発委員会】

委員長…由良宜彦氏（嘉亀鋼業）。

#### 〈活動方針〉

- ・現人材の高度化、新人材の採用等の課題に取り組む。

#### 〈事業内容〉

- ・参加型ワークショップ。
- ・技能講習会の開催。
- ・近隣大学就職部との情報交換会の開催。
- ・経営者向け会計および財務諸表の活用セミナー。
- ・工場等の見学会実施。
- ・ビジネスマナー講習会の開催。

### 【福利厚生委員会】

委員長…夏原和哉氏（ナツハラ）。

#### 〈活動方針〉

- ・構成会員の従業員ならびに家族を対象とした福利厚生の充実を目指す。

#### 〈事業内容〉

- ・委員会総会の開催。
- ・親睦ボウリング大会の開催。
- ・日帰りグルメツアーの開催。
- ・年二回の家庭常備薬の斡旋。
- ・カーリースの斡旋。
- ・各種保険の斡旋。

### 【会員交流委員会】

委員長…今井敏雄氏（丸菱ナット製作所）。

#### 〈活動方針〉

- ・ゴルフコンペ及び囲碁を通じ、会員相互の親睦交流を深めることを目指す。

#### 〈事業内容〉

- ・ゴルフコンペの開催（年2回）。
- ・囲碁倶楽部の定期開催。

### 【広報委員会】

委員長…檜本宏志氏（三和鋳螺製作所）。

#### 〈活動方針〉

- ・機関誌「結」の定期発刊を行い、会員相互の情報提供を行う。

#### 〈事業内容〉

- ・機関紙「結」の定期発刊（年2回）。
- ・総会、展示会の開催状況の掲載。
- ・各委員会の活動、講演会等の情報の掲載。
- ・組合員、賛助会員の事業所を取材し、企業紹介の掲載。

**【総務委員会】**

委員長…池田裕之氏（池田金属）。

**〈活動方針〉**

- ・総会、新年会、理事会等の会合を統括し、組合運営の円滑な推進を目指す。

**〈事業内容〉**

- ・通常総会の開催。
- ・新年互礼会の開催（10周年記念事業を含む）。
- ・理事会の定期開催。

**【IT活用委員会】**

委員長…川端康弘氏（オー・ピー・ジ）。

**〈活動方針〉**

- ・組合活動広報の一環として、「結」以外のインターネットを活用した媒体による、組合員に対するタイムリーな情報提供と、外部に対する活動PRを実証、研究。

**〈事業内容〉**

- ・組合ホームページの運営、管理。
- ・ネット媒体の活用方法の研究。
- ・企業ごとの情報発信や生産高調査システム導入の検討。

**【会員開発プロジェクト】**

委員長…池田栄治氏（大洋ナット工業）。

**〈活動方針〉**

- ・組合員・賛助会員の新規加入を促進する。

**〈事業内容〉**

- ・組合員を中心とした新規組合加入の促進。

**【営業政策プロジェクト】**

委員長…後藤晴雄氏（朝日押捻子製作所）。

**〈活動方針〉**

- ・ねじ業界を取り巻く営業環境の研究、業界の生産量集計方法の構築に取り組む。

**〈事業内容〉**

- ・組合員を対象とした月毎の生産統計調査

の実施。

**【ねじづくりサポート会事業】**

会長…坂元正樹氏（サカモト工業）。

**〈活動方針〉**

- ・組合員企業との交流により相互の発展・進化の機会を設ける事を目指す。

**〈事業内容〉**

- ・ねじづくりサポート会総会の開催。
- ・組合員との情報交換および交流会の開催。
- ・賛助会員分科会員同士での意見交換会の開催。
- ・勉強会（見学会など）の開催。
- ・企業紹介の更新・維持費（展示会、情報交換パーティ用）。

**【K-2（関西ねじ協同組合二世会）事業】**

代表幹事…佐伯祐二氏（日本鋳螺）。

**〈活動方針〉**

- ・二世経営者に必要な資質・知識を、養成・習得することを目指す。

**〈事業内容〉**

- ・総会、勉強会、二会合同研修会、忘年会、旅行会の開催。

**【ドリルねじ分科会事業】**

- ・平成23年度事業を踏まえ、ドリルねじ分科会総会後に詳細を正式決定。

**【新設分科会事業】****〈活動方針〉**

- ・組合員企業間の情報交換活性化を目指す。

**〈事業内容〉**

- ・製品別（ボルト・ナット・ドリルねじ・小ねじタッピング・座金）、用途別（特殊ファスナー・自動車部品）で分科会を新たに立ち上げ、組合員企業間の情報交換活性化をはかる。



# 役員 の 顔 ぶ れ

(敬称略)  
★印は新任役員)



理事長  
箕村 理(株ダイロック)  
〔全般管掌〕



副理事長  
北井啓之(ケーエム精工株)  
〔人材開発委員会参与〕  
【10周年記念事業委員】



副理事長  
中江良一(紀州ファスナー工業株)  
〔IT活用委員会参与〕  
【10周年記念事業委員】



副理事長  
西 泰宏(西精工株)  
〔海外情報委員会参与〕  
【10周年記念事業委員】



専務理事  
池田裕之(池田金属株)  
〔総務委員長、会計担当〕  
【10周年記念事業委員他】



理事  
池田栄治(大洋ナット工業株)  
〔会員開発プロジェクト長〕  
〔ナット分科会会長〕



理事  
今井敏雄(株丸菱ナット製作所)  
〔会員交流委員長・広報委員会参与〕  
【10周年記念誌委員】



理事  
大場康弘(株コクブ)  
〔研究開発委員長〕



理事  
樫本宏志(株三和鋸螺製作所)  
〔広報委員長〕

# 役員 の 顔 ぶ れ

(敬称略)  
★印は新任役員)



理事  
川端康弘(株オー・ピー・ジ)  
〔IT活用委員長、人材開発委員〕



理事  
北尾八三(日産ネジ株)



理事  
久保清一(金剛鋳螺株)  
〔総務委員会参与、福利厚生委参与〕  
〔10周年記念誌委員〕



理事  
後藤晴雄(株朝日押捻子製作所)  
〔営業政策プロジェクト長〕



理事  
豊田裕司(株巴製作所)  
〔研究開発副委員長〕



理事  
夏原和哉(株ナツハラ)  
〔福利厚生委員長〕



理事  
藤原廣二(フジテック株)  
〔研究開発副委員長〕



理事  
松田洋明(株ヨット印・ダイワ)  
〔総務副委員長、IT活用委員〕



理事  
松本典丈(松本ナット工業株)  
〔IT活用委員、海外情報副委員長〕



理事  
柳原考至(ロックファスナー株)  
〔海外情報委員長、人材開発委員〕



理事  
★行俊明紀(株竹中製作所)  
〔人材開発副委員長〕



理事  
由良宜彦(嘉亀鋼業株)  
〔人材開発委員長〕



監事  
田中良典(田中熱工株)  
〔総務委員会参与〕



監事  
★西川倫史(日本鋳螺株)  
〔IT活用委員〕

※相談役  
北井正次  
(ケーエム精工株)  
嶋田 亘  
(株フセラシ)  
田島祥一  
(株丸エム製作所)

# 総務委員会

## 第10回通常総会のご報告

委員長 池田裕之  
(池田金属 株)

平成24年5月29日、関西ねじ協同組合の第10回通常総会がリーガロイヤルホテル大阪にて開催されました。

第一部総会は北井啓之副理事長の司会進行で、箕村理事長が「平成14年に5団体が統合して創立された関西ねじ協同組合が10年の節目を迎える事が出来たのも皆さまのお陰である」と感謝と共に開会の挨拶を述べた。

次に来賓紹介と挨拶があり、大阪府商工労働部ものづくり支援課・戸梶直浩参事、社団法人日本ねじ工業協会・竹中弘忠会長らが挨拶を行った。その後、議長に箕村理氏を選出し議案審議に入った。

第一号議案 平成23年度事業報告と平成24年度事業計画案では福利厚生委員会の夏原和哉委員長、IT活用委員会の川端康弘委員長、賛助会員分科会の坂元正樹代表らが説明を行い、西泰宏副理事長が全体の活動実績と事業計画案を発表。第二号議案平成23年度決算報告余剰金処分案は池田専務理事、会計監査報告は田中良典監事が説明。第三号議案平成24年度予算案、加入金賦課金徴収方法については西副理事長が説明し、全て承認された。

続いて第四号議案役員改選においては役員選考委員会の池田栄治委員長から説明があり、役員候補者23名を満場一致で承認の後別室において理事会を開催、その後新理事長の挨拶及び新役員の紹介を行った。

次に退任理事の中谷格氏に対し組合運営の功績に感謝し記念品の贈呈が行われ、中谷氏による退任御礼挨拶を以って第一部総会も無事終了しました。

いよいよお待ちかね、第二部懇親会は松田洋明理事の司会にて、来賓の近畿経済産業局産業部製造産業課・内海美保課長の挨拶に続いて当組合の重鎮北井正次相談役の乾杯の音頭にて開宴となりました。盛大な宴のなか、参加者それぞれの組合活動や現況に関する意見、情報交換を行い和やかな祝宴となりました。そして宴もたけなわのなか、中江良一副理事長の中締めをもって散会となりました。

美味しい料理と飲み物を楽しんでいると、あっという間に時間が過ぎてしまいます。皆さまのご協力に心より感謝致します。



# 研究開発委員会

## 研究テーマ「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」は 2014年3月末で研究を終えます

委員長 大場 康 弘  
( 株 コ ク ブ )

研究開発委員会が、これまで取り組んできました研究テーマ「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」は、2014年3月末をもって研究に終止符を打ちます。

振り返れば、この研究テーマは、ねじを使用するユーザーから10年保証が要求されていることを背景として関西ねじ協同組合が設立された当初から始まりました。これまで、大阪府地場産業総合活性化補助事業を活用する期間もあり、積極的に活動を行ってきました。多くの屋内加速試験によって電食が腐食に及ぼす影響を調べることもできました。また、大阪・名古屋・宮古島など国内6箇所、さらに中国重慶市でも屋外暴露試験を行い貴重な試験データを活動報告書として報告することもできました。なにより、平成22年3月12日に、この研究活動によって得られた腐食寿命を予測する屋内加速試験条件が特許登録されたことは最大の成果と言えます。

これから約1年半の期間はこれまでの研究活動の締めくくりです。詳しい活動内容は未定ですが、これまでの研究成果を無駄にすることなく有効に残すことができるようにしたいと思います。また、来年からは新しい研究テーマの模索が始まります。組合構成企業によって役立つ新しい研究テーマを見つけたいと思いますので、みなさんの忌憚りの無いご意見をお願いいたします。

最後になりますが、長年にわたる研究活動は、遠方まで屋外暴露試験片を毎回観察した委員会メンバー、時にはボランティアで研究活動を支えてくださった佐藤幸弘先生のご尽力のお陰と考えております。この場をお借りして御礼申し上げます。加えて、本研究テーマに深い理解を示し、毎年多くの予算を確保しつづけてくださった理事のみなさまに心から感謝申し上げます。

# 人材開発委員会

## 新任のご挨拶と今年度の事業計画

委員長 由良 宜彦  
(嘉亀鋼業株式会社)

平素は組合事業並びに人材開発委員会へ多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年度より同委員会の委員長を仰せつかりました嘉亀鋼業株式会社の由良でございます。当委員会はねじ業界の社員教育や人材育成、社内の職責別に必要とされる講習会、セミナー、工場見学会などを中心に事業の運営をしております。

会員企業の方々に必要とされる「ニーズの高い企画」が提供できるよう取組む所存でございます。

今年度は以下の通り事業を開催する予定です。委員一同尽力してまいりますので、どうか多数のご参加を賜りますようご協力のほど宜しくお願い致します。

\* 「もしもし検定：ビジネスマナー講習会」 (実施済)

7月19日(木) シテイプラザ大阪にて実施

参加者：20社 32名

講師：NTTマーケティングアクト 依藤 由香

※講習会のような写真を写真でご覧下さい。

～ ～ ～ ～ ～ 今後の活動予定 ～ ～ ～ ～ ～

\* 大学就職部との情報交換  
通年事業として取組みます。

\* 経営者向け会計財務セミナー  
平成24年10月 実施予定

\* 技能講習会  
フォークリフト・クレーン・玉掛け  
平成24年10月 実施予定 (各1回)

\* 工場見学会  
平成24年11月 実施予定

\* 従業員向けワークショップ  
平成25年2月 実施予定

各事業の詳細は決まりしだいご案内致します。

委員会のメンバーをご紹介します。

企 業 名	氏 名
嘉亀鋼業株式会社	由良 宜彦
株式会社竹中製作所	行俊 明紀
ケーエム精工株式会社	北井 啓之
株式会社オー・ピー・ジ	川端 康弘
東和工業株式会社	中谷 成智
ロックファスナー株式会社	柳原 考至
太陽精工株式会社	山下 貴嗣
株式会社野村工具製作所	野村 拓広
株式会社ヒラノファステック	平野 靖雄



# 海外情報委員会

## 新任のご挨拶と今年度視察予定

委員長 柳原考至  
(ロックファスナー㈱)

平素は関西ねじの組合活動に御理解と御尽力をいただきまして誠にありがとうございます。今年度より海外情報委員会の委員長を拝命いたしましたロックファスナー株式会社の柳原です。

私どもの海外情報委員会も今回から新たなメンバーで、躍動するアジア近隣諸国のねじ産業界を組合員の皆様と共に視察し、勉強できればと考えております。

当委員会では平成24年6月5日に、事務局会議室で行われた第一回海外情報委員会にて、今年度の視察先をタイと決定させていただきました。

旅程内容としては現地での雨季シーズンと年末年始の繁忙期を避け、来年2月6日頃を予定しております。なお旅行日程として、土曜日・日曜日・祝日の3日間を採り入れた内容とし、参加される皆様の負担を出来る限り少なくなるように、配慮させていただきました。出来るだけたくさんの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

新体制の海外情報委員会のメンバーをご紹介します。

企 業 名	氏 名
ロックファスナー株式会社	柳原考至
松本ナット工業株式会社	松本典丈
西精工株式会社	西泰宏
池田金属株式会社	池田裕之
浪速鉄工株式会社	堀川忠彦
サカモト工業株式会社	坂元正樹
株式会社北螺子製作所	北喜次
株式会社ローラテクニカ	小林永典
ケイライントラベル株式会社	小畑真一

10月頃の募集開始を予定しています企画案です。

日付	都市名	スケジュール
2/6(水)	関空 出発	関西空港ご集合 航空機にてバンコクへ【所要6時間30分】
2/7(木)	バンコク着	午後～：工場見学【バンコク泊】
2/8(金)	バンコク滞在	午前と午後の工場見学 2カ所予定【バンコク泊】
2/9(土)	バンコク滞在	終日バンコク市内又は郊外視察など【バンコク泊】
2/10(日)	バンコク発A班	航空機にて関西空港へ【所要約5時間10分】
	関西着A班	到着後入国審、税関 解散
	バンコク発B班	終日バンコク市内視察 航空機にて関西空港へ【所要約5時間10分】
2/11(祝月)	関空B班着	到着後入国審査・税関解散

※旅程内容はあくまでも参考で変更する場合があります。



# 福 利 厚 生 委 員 会

## 第10回親睦ボウリング大会を開催

委員長 夏 原 和 哉  
(株 ナ ッ ハ ラ)

福利厚生委員会は6月17日(日)に、大阪市北区「桜橋ボウル」を会場として上半期のイベントである第10回親睦ボウリング大会を開催しました。

この大会は、組合員(賛助会員含む)企業の従業員リクレーション活動の一環として、組合設立以来取り組んでいるイベントです。盛りだくさんの賞品があることから多くの組合員様にご参加頂いております。

さて、今大会は、「桜橋ボウル」の5階～7階フロアを使用し、25社、171名、56チームで団体戦と個人戦を行いました。今年度は例年よりもたくさんのご参加を頂き、関係者一同、非常に感謝しております。

大会はボウリング場のアナウンスでスタートし、約1時間に亘って、団体戦は1チーム3名、1人2ゲーム、チーム6ゲームトータルピン数で、また、個人戦は1人2ゲームトータルピン数で競いました。(女性・子供は1ゲーム20点のプラスハンディキャップ・昨年男子個人戦上位者にはマイナスハンディキャップ)

結果は、関西ねじ優勝杯(団体戦)は、2年連続でケーエム精工(株)チームが手にされました。個人戦でも優勝された井岡氏は10フレーム2投目までストライクという快挙をされ(結果298点)、周りの組合員も自分のプレーを忘れ、固唾を呑んで応援しておられました。結果は別表のとおりです。実力が出せた方、出せなかった方、悲喜こもごもでしたが、楽しいひと時を満喫して頂いたものと、思っております。ご参加、ありがとうございました。

また、福利厚生委員会では、下半期のイベントとして、大人気グルメツアーを用意しております。開催は12月2日(日)の予定です。組合員(賛助会員)の皆さんに喜んで頂ける企画を致しますので、奮ってご参加応募願います。

★団体戦

順位	企業名	ネットータル
優勝	ケーエム精工株式会社	1291
2位	株式会社ダイロック 東大阪工場 A	1184
3位	光精工株式会社 B	1116

★総合個人戦

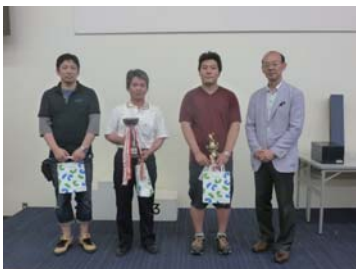
順位	氏名	企業名	ネットータル
優勝	井岡 聖一	ケーエム精工株式会社	500
2位	土谷 蔵幸	株式会社丸エム製作所	461
3位	西田 功	ケーエム精工株式会社	447

★女性の部

順位	氏名	企業名	ネットータル
優勝	福田 明子	(株)丸エム製作所	370

★子供の部

順位	氏名	企業名	ネットータル
優勝	畑瀬 美崎	(株)ミナミダ	146



団体の部 優勝



総合個人の部 優勝



個人の部 女性 優勝

## 会員交流委員会・囲碁倶楽部

### 女流学生本因坊を招いて碁を楽しむ

囲碁倶楽部 神 山 裕 義  
(株 神 山 鉄 工 所)

私が囲碁を覚えたのは社会人になって暫くしてからで、友人からルールを教わり、最初四目置いて打ったがいくらやっても勝てない。くやしくて本屋に行って囲碁の本を読みだしたのが始まりです。囲碁所にも行くようになり、お医者さん、学校の先生、税理士さん、経営者等々、色々な人と碁を打ってみて一局の碁の面白さが分かる様になって来ました。社長になってから二十年以上になり悩みの連続ですが、その合間の碁を打っている間は悩みも忘れられて自由になる事が出来ました。仕事と関係のない趣味を持つと言う事は、是非お勧めしたいと思います。特に囲碁はお勧めです。

碁には定石というものがありその時々を考えられたお互い最善を打った場合の碁のカタチと言うものがありますが、まわりが一手変わると途端に定石も変る。正にクリエイティブな世界に突入します。そこが、おもしろいのですが・・・

関西ねじの囲碁同好会に入らせていただいてたくさんの友人ができました。仕事の悩みはこの時ばかりは忘れて、皆さん子供の頃のように自由に楽しくやっておられて気持ちいいです。特に最近、立命館大学の学生で二十三年度女流学生本因坊になられた堀本範子さんに月に一度の指導碁を打って貰えるようになってから男ばかりの同好会が、パッと明るく華やかになったような気がします。事実、毎回碁を打ち終わって皆さんで食事をしながら一杯やりますが、その時は、女流本因坊も一女学生に戻って初々しい現代の若者事情が飛び交うので気分も若返ります。

囲碁を通じて、ほんとうにいい御縁を持たせて頂いたと思っております。これからも御縁を大切にしていきたいと思ひますし、これをご覧の皆さまにも良い御縁を持って頂きますようお願いしております。



# IT活用委員会

## 組合ホームページのリニューアルに取り組む

委員長 川 端 康 弘  
(株オー・ピー・ジ)

先の5月29日に開催されました総会にてご紹介いたしました内容に基づき、次年度設立10周年を迎える当組合の事業といたしまして組合ホームページをリニューアルいたします。それらIT委員会プロジェクトメンバーは下記委員になります。

参加者	企業名	役職名	氏名
委員長	株式会社オー・ピー・ジ	代表取締役社長	川端 康弘
副委員長	フジテック株式会社	営業部	藤原 智廣
参 与	紀州ファスナー工業株式会社	代表取締役社長	中江 良一
参 与	三喜鋳螺株式会社	代表取締役社長	勝亦 良彰
委 員	株式会社ビジービー	SP+SYSTEM トレーナー	中村 勇氣
委 員	日本鋳螺株式会社	代表取締役社長	西川 倫史
委 員	松本ナット工業株式会社	代表取締役社長	松本 典丈
委 員	株式会社ヨット印・ダイワ	代表取締役社長	松田 洋明
委 員	日産ネジ株式会社	特命部長	藤戸 瑞
委 員	瑞穂工業株式会社	営業部	加藤 諭
事務局			山内八千代

現在、定期的な理事会ごとの報告は、各委員会ごとに文章化し掲載しておりましたが、一元化し議事そのままを掲載する形をとっており、以降委員会での議事進行におきましましては、「もっと使ってもらおう組合のホームページ」をコンセプトに様々な視点よりテーマを定めて進めております。

- 1) 労務作業の軽減
- 2) 事業出欠、申込み等のHPからのシステム化
- 3) 生産統計表の入力
- 4) 結のデジタルPDF掲載の固定化
- 5) 各会員企業ごとのアクセスID,PASSWORDによる閲覧
- 6) メールアドレス(企業)の収集と情報の発信

つきましては、来年の平成25年1月17日開催されます10周年記念式典&新春互礼会にて、閲覧や活用の仕方などのご説明ができますことを目標に進めておりますので、掲載いたしますデータベースや皆様の登録(メールなど)を都度お願いすることとなるかと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



# ねじづくりサポート会 (旧 賛助会員分科会)

## 名称変更、事業計画について

会 長 坂 元 正 樹  
(サカモト工業(株))

平素より組合員ならびに賛助会員の皆様には当分科会活動に格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。

今年度は役員改選の年になるのですが、引き続き会長を仰せつかることになりました坂元正樹でございます。まだまだ若輩ではございますが、宜しくお願い致します。

総会でも説明させていただきましたが、「賛助会員分科会」から「ねじづくりサポート会」に名称変更を行いました事をご報告いたします。関西ねじ協同組合設立から10年という節目を迎える中、賛助会員企業の中でもねじづくりをサポートしている企業が集まり「正会員に対する新技術・新素材・新製品情報等を開示・提供」という会の趣旨に賛同する賛助会員企業が集まった分科会と理解して頂きたく名称変更に至りました。

さて、本年度の事業計画ですが年末の恒例行事であります「情報交換&親睦パーティ」を計画しております。年々参加人数が増えており昨年では174名の参加でした。今年度は200名を予定したいと考えておりますので、年末の忙しい時期ではありますが情報交換を行える場として活用して頂ければと思います。

また、ねじづくりサポート会員同士の情報交換会や勉強会といった事業を計画しております。勉強会では工場見学を予定しています。

今年度もねじづくりサポート会事業をとおり、組合員様のご発展に少しでも役に立てるように頑張っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。最後になりますが今期の役員を紹介します。

会 長	サカモト工業株式会社	代表取締役社長	坂元 正樹
副会長	有限会社アールケイ興産	代表取締役社長	森嶋 勲
副会長	サカイ工機株式会社	代表取締役社長	小林 洋介
会 計	北角紙器株式会社	代表取締役社長	北角 尚弘
書 記	株式会社信光ステンレス	代表取締役社長	西居 慎一郎
書 記	田中熱工株式会社	海外事業推進室	末本 彬人
幹 事	株式会社阪村機械製作所	代表取締役社長	中野 孝之
幹 事	株式会社ビジービー	代表取締役社長	中村 真也
相談役	大阪精工株式会社	取締役社長	澤田 斉
相談役	田中熱工株式会社	代表取締役社長	田中 良典

# K-2 (関西ねじ協同組合2世会)

## 2012年度活動計画

代表幹事 佐伯 祐 二  
(日本 鋌 螺 株式会社)

本年度K-2代表幹事を務めさせて頂いております佐伯祐二です。

平素は我々のK-2会活動に対して関西ねじ協同組合会員の皆様から多大なご支援とご理解をいただき誠にありがとうございます。K-2は9年目を迎えておりまして今年度は59人の会員で活動しております。

今年度は例年通り6回の例会を予定しております、既に総会(3月)、旅行会(7月)と2回を終えました。旅行会では兵庫県加東市にあるパナソニックエコテクノロジーセンター(PETEC)を見学し、家電リサイクルの現状を勉強しました。

今年の活動は会員にとってK-2が一つの居場所になればと思っております。同じねじという業界にいる者同士で気軽に話し合い情報交換しながら、お互いが切磋琢磨し成長できる、そして息抜きもできる、そんな場になればと思っております。そしてそれが会員様の会社の発展に繋がること出来ればと考えております。

景気が伸び悩み、不況という言葉が定着しつつある昨今、日本の将来が懸念されておりますが、こういう時こそ我々若い世代が時代を切り開いていかなければならないと感じております。非常に厳しい時代ではありますが、前向きに考えてゆけば道が見えてくるのではと考えております。K-2幹事にも幹事未経験の者が3人入りまして諸先輩方の功績を伝えつつ、K-2自体の活性化もはかっていきたいと考えております。

現状59人の会員ですが、40代、30代後半の方が多く、このままですと5~6年後には30人位になってしまいます。皆様におかれましてご子息、ご令嬢、お知り合いでK-2参加ご希望の方がおられましたら是非お声をおかけ下さい。

今年一年有意義な会になるよう幹事一同頑張りますので宜しくお願い致します。

K-2 平成24年度予定

代表幹事	佐伯祐二	日本鋌螺株式会社
副代表	伊藤竜介	株式会社伊藤戸車製作所
会計	谷本和隆	谷本ネジ工業株式会社
書記	佐藤聖仁	ケイエスティ株式会社
幹事	菅原成祐	大和電化株式会社
幹事	小林永典	サカイ工機株式会社
幹事	高橋 学	株式会社山陰ネジ製作所

年月日	内容
平成24年4月13日	総会
平成24年7月6、7日	旅行会
平成24年9月	勉強会
平成24年10or11月	二会合同研修会(K2主催)
平成24年11月	忘年会
平成25年2月	勉強会



総会にて

# ナット分科会 & 会員開発プロジェクト

## 活動内容のご紹介

委員長 池田 栄 治  
(大洋ナット工業㈱)

ナット分科会ならびに会員開発プロジェクトの二つの会を仰せつかっております池田栄治でございます。下記に二つの会の活動についてご報告いたします。

### 【ナット分科会】

ナット分科会は平成17年4月に立ち上げられました。当時は材料価格高騰が経営課題になっており有意義な情報交換を行う会として定期的に会合をもっておりました。その後、材料価格問題が沈静化し分科会の活動も停滞気味になりました。

しかし今年度から、分科会を通して会員相互の交流を深めるとの箕村理事長の新方針のもと、再出発しました。5月16日には今年度第一回目の会合を開きました。同業者ならではの有益な会合を持てたと自負しております。今後ナット分科会は春と秋の年二回会合を開き情報交換を中心とした活動を行なう計画です。次回会合は10月22日を予定しております。

国内企業ではなくアジア諸国との競争が一段と激しくなる中、ナット分科会が国内企業同士の協力関係を強める有益な会となれればと考えております。最後になりますが、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 【会員開発プロジェクト】

会員開発プロジェクトは本組合への新規加入促進を行なっているプロジェクトです。平成23年度には組合員企業2社・賛助会員企業1社、平成24年度には組合員企業1社・賛助会員企業1社が新たに加入するに至りました。現在、本組合は組合員企業130社、賛助会員71社で構成されております。本組合の地区内に未加入のねじメーカーや関連企業様がおられましたら、是非とも組合加入のお声がけをお願いいたします。

\*\*\*\*\* 美しい日本の美しい話 第四話 \*\*\*\*\*

## 千人の体を洗う光明皇后

ある夜の事です。光明皇后は、夢の中で仏の言葉を聞きました。「皇后よ、人々のために、功德風呂を建てなさい。そして千人の貧しい人々の体を洗ってあげなさい」。

夢がさめた後も、この言葉は皇后の胸にはっきりと残っていました。

そこで皇后は、金持ちでも貧乏人でも、だれでも利用することのできる大きな浴室を建てました。そして自分も浴室に入り、どんな人に対しても少しも区別せずに、その体を洗ってあげました。

「ありがたいことだ」と、評判を伝え聞いて、いろいろな人たちが風呂にやってきました。皇后が体を洗ってあげた人の数は、やがて九百九十九人を数えました。

そして、千人目の人が皇后の前にあらわれました。それは髪が抜け落ち、顔や体の化膿がひどく、皇后は思わず目をそむけたくなるような老人でした。

(こんなことでないけない) と皇后は思い、その老人の体を洗ってあげました。

皇后が老人の体をすっかり洗い終えたときのことです。その老人は「お願いがありません」と言い出しました。

「私は、こんな病気にかかって苦しんでおりますが、どなたか、この体の膿を口で吸い取って下さる人があれば、私の病気が直ると教えられたことがあります。なんとかお慈悲で、私の体の膿を吸い出していただけないものでしょうか」とんでもない難題です。そもそもそんなことで、この難病が治るなどとは思えません。

しかし、皇后は深くうなずきました、そして老人のただれた体に口を当てました。するとどうでしょう。それまでのみずぼらしい老人は、みるみるうちに金色に光り輝く仏の姿に変わり、静かに天に昇っていったのです。

この老人の話は伝説であります。光明皇后の徳を慕う、当時の多くの人々の間で皇后の慈悲深さをたたえて自然に生まれた逸話といえるでしょう。どんな時代にも、貧しい人、体の不自由な人など、恵まれない境遇にある人は少なくありません。この様な人たちに救いの手を差し延べ、無償の施薬院や悲田院などを開設した光明皇后の取り組みは、日本における福祉の原型といわれます。この精神は、今日の皇室の社会福祉への取り組みに連綿として受け継がれています。

天平二年(730)、光明皇后(第45代・聖武天皇の後)は、病気で苦しむ貧しい人々を救うために、奈良の都に施薬院という病人に無料で薬を与えたり、治療してあげたりする病院や、身寄りのない老人や孤児を集めて世話をする悲田院をつくりました。施薬院は、光明皇后の努力で、長い歳月にわたり活発な活動を続けました。それから約30年あまり後も、正倉院から施薬院に何回も大量のニンジン、桂心(薬用の木の皮)などの薬がおくられたという記録が残っています。

(育鵬社より)



# 賛助会員企業紹介

## 株式会社 小島鉄工所

### ～転造技術の可能性を追求するクリエイター～

昭和22年、大阪市城東区で現社長の祖父の小島信太郎氏が41才の時、ネジ関連機械の製造・修理をする小島鉄工所を創業しました。それまでは株式会社丸エム製作所に勤務され、またその父も同じ会社に勤務され、特許を発明された技術者でありました。

昭和30年、ネジ転造ダイプレートの製造販売開始。昭和35年、ネジ製造部門開設。翌年ヘッダー部門も開設し、輸出向けネジを中心に金型から製品までを手がける一貫メーカーとして業績を拡大する。

昭和48年、同時転造ダイプレートによる製品化の成功と同ダイプレートの販売を行う。昭和57年、フォームローリングの製品化に成功。昭和63年、フルスレッドスクリー用プレートの特許取得と順調に展開する一方、円高が進行し日本の輸出産業が大ダメージを受ける中、同社の輸出中心の仕事も苦戦をしいられました。そこで思い切ってネジの生産から撤退しダイプレート一本に絞り業績の回復に集中しました。

この様な激動の中、平成元年現社長である小島浩次氏が二代目社長に、弱冠26才の時である。元々技術力があつたことで株式会社青山製作所を主要顧客にダイプレート事業が順調に事業拡大しスペースに余裕がなくなったこともあり、平成19年現本社（兼工場）に移転。この社屋は鉄工所というよりも近代的なオフィスというイメージで高精度な製品に相応しい建物です。

平成9年にもボールジョイント同時転造プレートの特許を取得するなど技術の追求、製造技術の精度管理の高度化等々、それに伴う各種の事務管理についても早くからコンピューター化に取り組み、合理化・省力化を実現させながら管理技術の高度化にも平行して取り組んでいます。これらを総合的にシステム化・組織化を行い製造技術・精度管理・管理技術と全ての面でレベルの高いパフォーマンスを実現している。

海外へのPR・販売活動も積極的に行い、高い評価を得ています。最近の国内取引では車の系列取引での制約も以前程厳しくなくなり、他のネジメーカーへの販売もやりやすくなったことで、更なる市場獲得に向けて全社一丸となり邁進しているところです。

(粉室各伸、記)

## 有限会社 浜岡鍍金工業所

その昔、枚岡一帯は生駒山麓から流れ出る水を利用して水車を廻し、それを動力として伸線加工業が栄えました。そんな大阪の産業発展の礎とも言える東大阪市宝町にある、有限会社浜岡鍍金工業所にお伺いしました。

まるでイタリアンレストランかと思ふような洒落な二階エントランスを抜けた会議室で、浜岡康夫社長と浜岡利光専務にお話を伺いました。

同社は昭和41年3月大阪市東成区緑橋にて創業、同42年7月に設立とともに東成区深江橋に移転、同61年11月より現在地に於いて操業されています。

業務の内容は鍍金の表面処理加工で、電気亜鉛鍍金の部類の防錆鍍金。中でも近年環境問題のクローズアップとともに、6価クロム等の有害物質の全面使用禁止が謳われている為、6価クロムを含有しない3価クロメートの処理設備を導入し「環境に優しい」表面処理方法に対応されています。

ただ、この3価クロメートもあくまでもノンクロムへの移行過程である為、自社にて新技術及び薬品開発に取り組み、その成果によりノンクロム・亜鉛鍍金「e c oMAX」と言う次世代型の鍍金を開発し、来るべき量産化に向け準備を整えられていました。

また新技術開発にあたっては、薬剤メーカーのピーカーレベルでの研究では解らない所を補う為に研究開発専用のラインを造り、その他紫外可視分光光度計・エネルギー分散型蛍光X線装置等々の光学器械の充実ぶりにも目を見張るものがありました。

まさに“研究開発型表面処理メーカー”でありました。

またもう一つの環境問題である、鍍金時に出る廃液や騒音の問題にも注力し、生産設備と同等のこだわりと投資で、関西有数の処理施設を設置し、電子制御された設備により浄化及び再利用がなされていました。

この様な取組みで、最近周囲に増えてきた民家の方々からの信頼も得られ、現状の24時間3交替での操業も可能となっています。

美しい床面と整然とした工場には、研究開発用ラインに加え、電気亜鉛鍍金ラインが3ライン、内2ラインが連続ベーキング装置付となっています。

加工製品の大部分はねじ製品で、その内の60%が自動車用のねじ及び部品、30%が弱電関連、残りが建築関連その他といった割合となっています。

多種大量の製品を扱う上での品質管理の重要性、この面でも同社は一歩も二歩も秀でた管理がなされていました。

生産・検査機械のメンテナンスから、製品の強度を保つベーキング処理まで、詳細なデータに基づいて徹底管理されています。

なかでも工場に入っただけで目につくのが、従業員の方々の仕事ぶりでありました。

ヒューマンエラー対策が教育され、常に「指差し呼称」で確認し、混入防止対策が徹底されています。また声を出す事により、現場が前向きで明るくなったそうです。

社長曰く、「各社とも設備に大差は無く、またお金さえあれば設備は揃える事が出来る。企業として一番大事なのは、やはり社員である。社員一人一人の資質向上が会社のレベルアップに繋がり、品質向上に繋がるんだ。この業界は人で差がつくんや」、そう思っています、と。

そう言われる通り、同社では「入社7年で一人前になろうよ！」を合言葉に、社員が各自で考えて自分に合った資格を取る制度を設け、モチベーションの向上に努められていました。

なかなか一朝一夕に出来る事ではないと思います。浜岡鍍金工業所、我々ねじメーカーが安心して表面処理を任せられる、そんな会社でありました。

(今井敏雄、記)

## 株式会社 小島鉄工所



小島社長



本社工場社屋

## 有限会社 浜岡鍍金工業所



浜岡社長(右)と浜岡専務(左)



本社工場社屋

# 事務局より

## 代表者の変更

### サンコーインダストリー株式会社

平成24年3月、代表取締役会長に奥山泰弘氏が、代表取締役社長に奥山淑英氏が就任されました。

### ナルト金属株式会社

平成24年3月、会長に来田克義氏が、代表取締役に来田忠義氏が就任されました。

### 株式会社エコー

平成24年6月、代表取締役社長に上田健氏が就任されました。

### 株式会社東工舎金属製作所

平成24年7月、代表取締役に東瀬いく様が就任されました。



## 編集後記

### 老舗に学ぶ

内閣府の月例経済報告には、「景気は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるとはいえ、中小企業はまだまだ気を抜けない」と書いてありました。系列は崩壊し、大手企業は安価な労働力と製品を求めて海外への進出を進めている。海外に出た企業が本格稼働に入る2015年までの間に20%強の仕事が現地調達化されるとまで言われている。このような厳しい経済環境の中で生き残っていくため「老舗」といわれるものの研究がブームになっている。

「老舗」企業がなぜ永きに亘って生き残れたのかが気になる場所です。参考になる老舗企業の経営革新を幾つか取り上げてみました。

1. 自己変革をせずに、いくつもの時代の荒波を乗り越えることはできない。時代に合わせた新展開を繰り返してきたからこそ、何百年にもわたって生き残れたのである。
2. 本業からかけ離れることなくその技術力を高めて、それを応用していく力をつける。
3. 企業が生き残るためには無理に大きくしないで適正規模を保つ事です。
4. 世の中に貢献することが、必ず将来認められ、収益も後からついてくるという高い志が企業を長続きさせている。
5. 自分の得意分野を明確にする。
6. その得意分野をどこにも負けないくらいに極める。
7. 得意分野でお役に立てるお客様を明確にする。
8. お客様の変化に応じて自らを変える。

当たり前のようなことですが、将来を見据えて企業の維持のために実行することで老舗企業は生き残ってきたのだとおもいます。

(広報委員長 樫本宏志)